

パーソナルアジャストメントシステム搭載

emigo

えみ〜ご

取扱説明書



この取扱説明書は、商品を安全に使用していただくため、正しい使用方法や、注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みください。



カナヤマ HUMAN SOLUTION マシナリー株式会社

〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

製品のチェック

以下の点は、出荷時にチェックしていますが、搬送中のトラブルもありえますので、必ずお確かめください。

- 四輪とも車輪が、床に接地しているか？
- ティルトレバーで、座面の上げ下げができるか？
- リクライニングレバーで、バックサポートの角度調整ができるか？
- ティルトレバー・リクライニングレバー、それぞれ任意の位置で固定できるか？
- 前輪・後輪ともに、スムーズに回転するか？
- 左右のフットブレーキが、しっかり掛かるか？ または、スムーズに操作できるか？
- スイングアウト（フットサポート）が、スムーズに操作できるか？
- 背折れダイヤルが、しっかりと固定されているか？

本書の目次

調整は正しい順序で行われることが大切です。最初に正しく座る姿勢に調整し、次に運転目的に合ったバランスを調整します。座る姿勢が変わると車いすのバランスも変わるので、この順序を守ってください。

安全にご使用いただくために…………… 2	＜背もたれ（調整ベルト）＞…………… 8
警告…………… 2・3・4	＜アームサポート＞…………… 9
注意…………… 4	＜フットプレート＞…………… 9
各部の名称…………… 5	＜スイングアウト機構＞…………… 10
各可動域説明図…………… 6	＜転倒防止バー（ティッピングバー）＞…………… 10
ご使用になる前に…………… 7	＜フットブレーキ・介助ブレーキ＞…………… 11
各部の操作方法と使用方法…………… 7	折たたみ方式…………… 11
＜座面角度調整レバー（ティルトレバー）＞…………… 7	ガススプリングについて…………… 12
＜背もたれ角度調整レバー（リクライニングレバー）＞…………… 7	車いすの保守・点検…………… 13
＜背折れ角度・高さ調整＞…………… 8	車いすの主な乗り方＜各部の点検・保守方法＞…………… 14
	仕様…………… 15

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を説明してあります。

■表示内容を見逃して、誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を説明してあります。

**警告**

この表示欄は『死亡または重傷に至る可能性が想定される』内容です。

**注意**

この表示欄は『傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される』内容です。

■お守りいただく内容を説明してあります。



この表示欄は、してはいけない『禁止』内容です。



この表示欄は、していただく『強制』内容です。

**警告**

- Ⓐ **こわれた状態や異常があるときは使用しないでください。**
こわれた状態や点検せずに異常のあるまま使用すると、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- Ⓑ **勝手に改造しないでください。**
改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車椅子を損傷させたりして事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
また、改造や補助動力装置を装着しますと、保証の適用を除外されます。
整備が必要なときは、販売店にご相談ください。
- Ⓒ **夜間や、雨降りなど悪天候の時は通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。**
- Ⓓ **介助者は絶対に車椅子に乗って介護しないでください。**
- Ⓔ **背もたれに重い物を引っ掛けしないでください。転倒の危険性があります。**
- Ⓕ **屋外での長期間の保管は避けてください。錆や故障の原因となります。**
- Ⓖ **坂道の上がり下がりの際は、必ず介助者に支えてもらってください。**
上がる時は前向きで、下がる時は、後ろ向きで走行してください。
※ 坂道を前向きで下がると、乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。
- Ⓗ **車椅子に乗り降りの際は、必ずフットプレート(ステップ板)を上に乗せ上げてください。**
※ 絶対にフットプレート(ステップ板)の上に乗って車椅子に乗り込んだり、降りられる時に立ち上がらないでください。車椅子ごと転倒する危険があります。



- ① **階段などで利用者が乗ったまま車椅子を持ち上げる場合は、固定されているパイプを3.4人でしっかり支えてください。**
 - ※ アームレストを持たない。 ※ フットサポートを持たない。 ※ タイヤを持たない。
 - ※ 押し手ハンドルを持たない。
 - (これらの箇所を持ち上げると、フットサポートやアームレストなどが車いすから外れるなど、大変危険です。)
- ① **調整作業に不安があるときは調整しないでください。**
 - 部品が破損したり、外れたり、車椅子を損傷させる恐れがあります。
 - お近くの販売店へご相談ください。
- ① **ホイールの脱着後、固定を確認せずに使用しないでください。**
 - ホイールが外れて、転倒の恐れがあります。
- ① **落下、転落しないでください。**
 - 事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **不十分な調整状態で使用しないでください。**
 - 身体に無理をかけたたり、床ずれ(褥瘡)などになる恐れがあります。
- ① **車軸前後位置は身体の状態に合わせて調整をし、無理な調整はしないでください。**
 - 転倒によるけがの恐れがあります。
- ① **50℃以上の高温になる場所(炎天下の自動車内、暖房器具の近く)におかないでください。**
 - 高温になり、火災やパンクなどの恐れがあり、また部品を著しく傷める恐れがあります。
- ① **車椅子に巻き込まれやすい服装を避けてください。**
 - ホイールなどに巻き込まれ、転倒によるけがの恐れがあります。
- ① **移乗時はチルトさせたままフットプレートに立ったり乗ったりしないでください。**
 - 車椅子を損傷させたり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **掃除するときなどにタイヤにワックス、油分を付けないでください。**
 - ワックス等の油分が付くと、タイヤ、ハンドリムが滑り、十分なスピード調整が出来なくなり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **他の乗り物につかまりながらの移動は危険です。**
 - 車椅子を損傷させたり、転落、転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **下り坂などでのスピードの出しすぎは危険です。**
 - 衝突や転倒などの事故を起こしやすく危険です。
- ① **スピード調整は、必ずブレーキを使用してください。**
- ① **一般道以外の荒地、悪路には入らないでください。**
 - 車椅子を損傷させたり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **凸凹の激しいところ(踏み切り、歩道の段差や溝)などは自力走行を避けてください。**
 - キャスターホイールがはさまったり、フレームやホイールが損傷し、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。●介助してもらいましょう。
- ① **乱暴な取り扱い、無理な取り扱いをしないでください。**
 - 車椅子を損傷させ、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **滑りやすいところは自力走行を避けてください。**
 - 降雪、積雪、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップして、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① **ペットを連れて使用しないでください。**
 - ペットに引きずられ、衝突や転倒などによるけがの恐れがあります。

警告

- ① 傘をさして使用しないでください。
傘をさしての片手操作は不安定で危険。事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 未使用時の車椅子に幼児を近づかせないでください。
けがをしたり車椅子の下敷きになり、けがの恐れがあります。
- ① 運動機能が低下するものを摂取したときは自力走行しないでください。
事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① エスカレーターの使用は避けてください。
ホイールなどを巻き込まれての事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 急坂などの自力走行は避けてください。
転倒などによるけがの恐れがあります。

注意

- ❗ 点検、整備を怠ると故障や事故などによるけがの恐れがあります。
日常の点検、整備、および1カ月に1度各部の点検、整備をしてください。
- ❗ 上半身の不安定な方はベルトの装着をしてください。
- ❗ 移乗時、停車時、未使用時はブレーキをかけてください。
動き出して落下、転落、転倒などによる、事故やけがの恐れがあります。
- ❗ 車椅子は歩行者。必ず歩道を通りましょう。

安全に介助されるために

- ① 回転部、可動部には触れさせないでください。
ホイールなどに巻き込まれ、けがの恐れがあります。
- ① 持たれる位置を指定してください。
介助者がけがをする恐れがあり、また落下や転落、転倒などによるけがの恐れがあります。

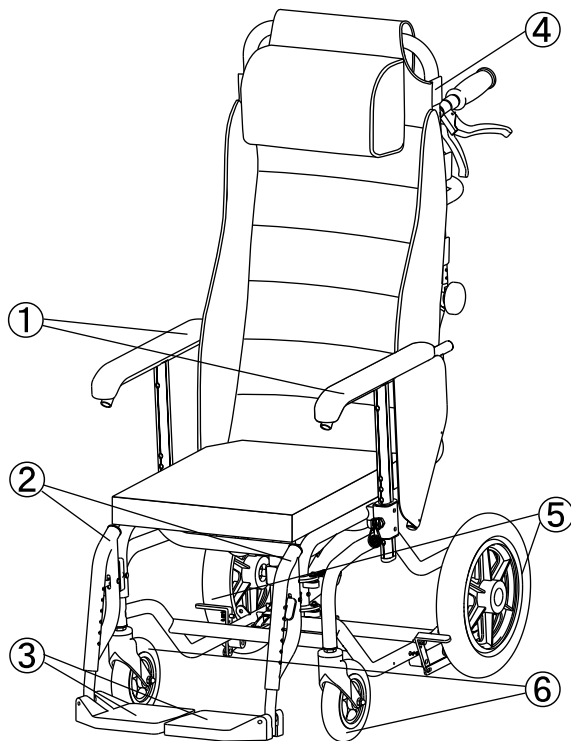
注意

- ❗ 素足で使用しないでください。
けがの恐れがあります。
靴下などを履き、そのある履物を履いて使用してください。
- ❗ タイヤを使って駆動しないでください。
タイヤとブレーキの間に手を挟まれる恐れがあります。
ハンドリムを使って駆動してください。
- ❗ 低温（-5℃以下）での使用、保管はしないでください。
各部品が損傷する恐れがあります。
- ❗ 面ファスナーは確実に取り付けてください。
固定力が低下し調整状態が変わります。
- ❗ 面ファスナーに付着した糸屑などは取り除いてください。
固定力が低下し調整状態が変わります。

各部の名称

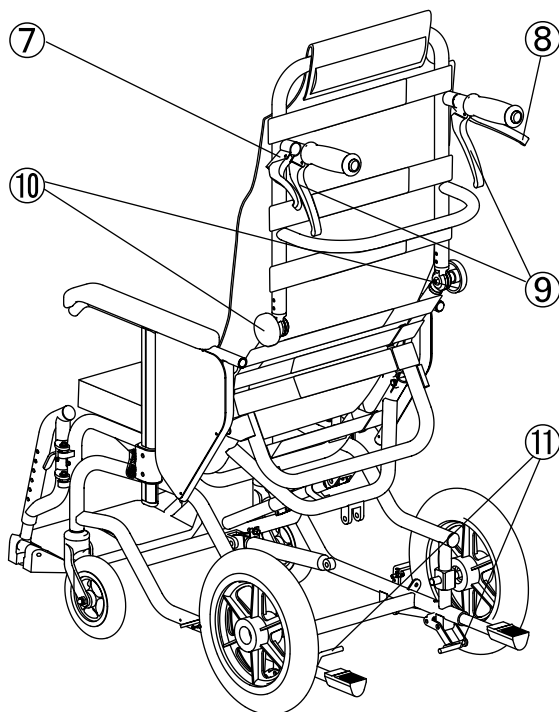
<前から見た図>

- ① アームサポート
- ② フットサポート
- ③ フットプレート
- ④ ヘッドサポート
- ⑤ 12インチ後輪
- ⑥ 6インチ前輪



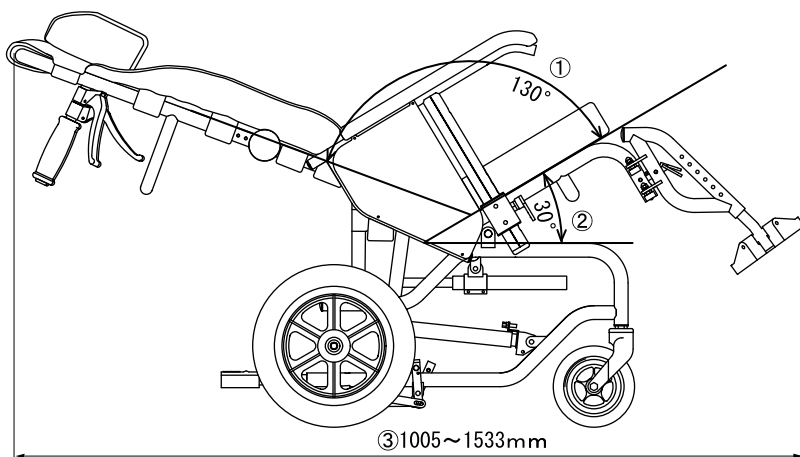
<後ろから見た図>

- ⑦ リクライニングレバー
- ⑧ ティルトレバー
- ⑨ 介助ブレーキ
- ⑩ 背折れダイヤル
- ⑪ フットブレーキ

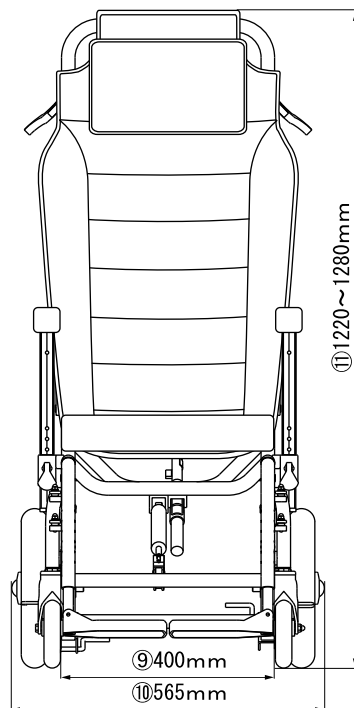
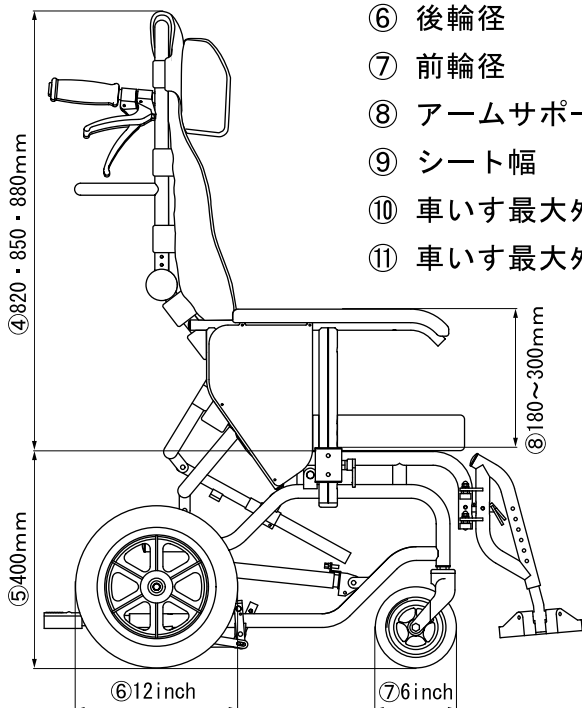


各可動域説明図

- ① バックサポート角度
- ② シート角度
- ③ 車いす最大外寸（全長）



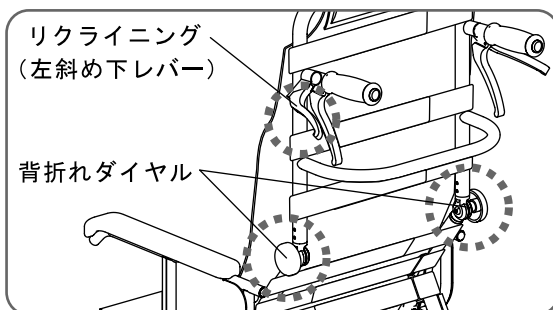
- ④ バックサポート高
- ⑤ 前座高
- ⑥ 後輪径
- ⑦ 前輪径
- ⑧ アームサポート高
- ⑨ シート幅
- ⑩ 車いす最大外寸（全幅）
- ⑪ 車いす最大外寸（全高）



ご使用になる前に

快適に使用していただくために・・・

- ① リクライニングレバーを握って、折りたたんだ状態から背もたれを起こしてください。
- ② 背折れダイヤルがしっかりと締めつけられているかを確認下さい。



警告

●締め忘れることにより転倒や故障の原因となります。

各部の操作方法と使用方法

<座面角度調整レバー（ティルトレバー）>

- ① レバーを握ると座面角度を調整できます（0度～30度）
- ② 安全の為、ワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。



注意

●ティルト操作時はブレーキがしっかり掛かっているか、また、傾斜等の不安定な場所でのご使用はご遠慮下さい。

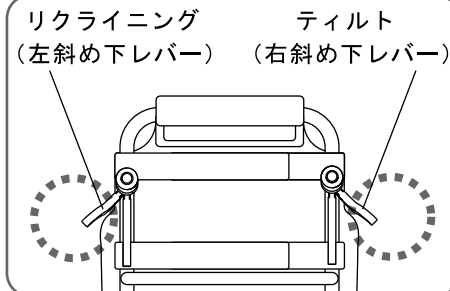
<背もたれ角度調整レバー（リクライニングレバー）>

レバーを握ると背もたれ角度を調整できます。（0度～130度）



警告

- 安全の為、ワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。
- 乗員の重さが加わりますのでしっかりハンドルを握り、支えてからリクライニングレバーを操作してください。背もたれが急に倒れ危険な場合があります。
- ティルト・リクライニングレバーの操作は必ず介助者が操作してください。
- 坂道での走行は転倒する恐れがあるため十分注意してご使用下さい。
- ティルト・リクライニングレバーの急激な操作は絶対にしないで下さい。

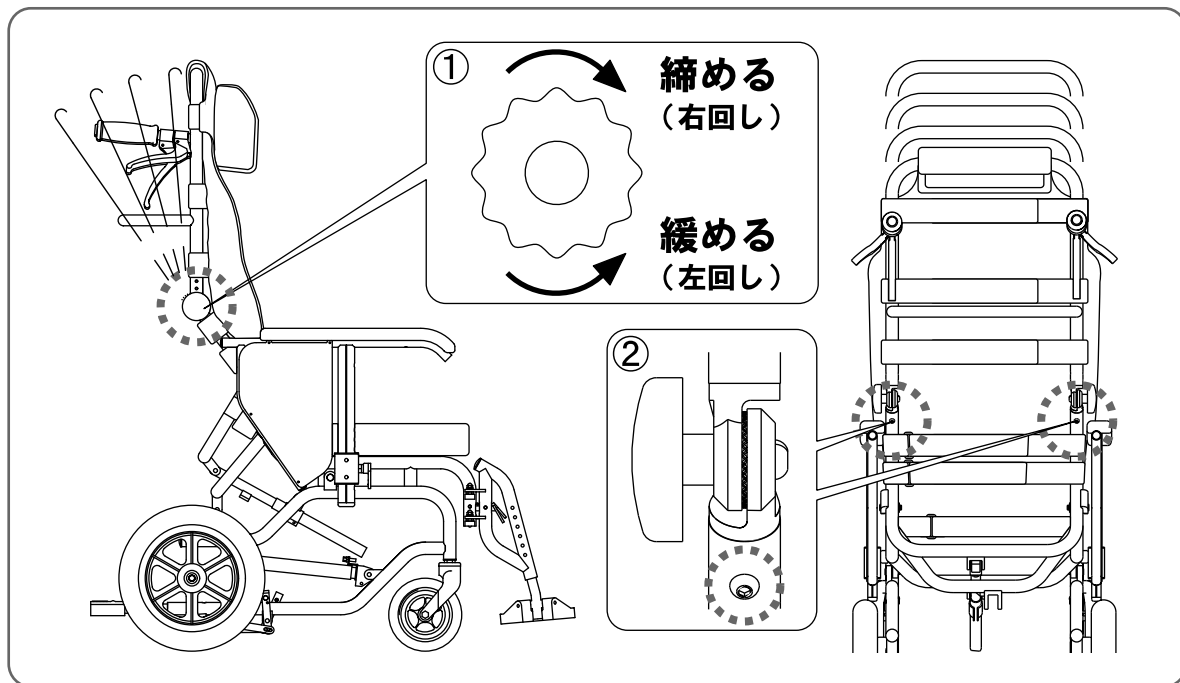


注意

●リクライニング機構は、反発力がある為、前方に倒れ易いので、無人・有人状態に関わらず操作される際には、十分ご注意ください。

<背折れ角度調整・高さ調整>

- ① 角度調整・・・両側のダイヤルを緩めることによって、角度が調整できます。
- ② 高さ調整・・・六角レンチでネジを取り外すと、高さ調整ができます。



注意

●背折れ角度を座面側に倒しすぎることによって、腹部の圧迫を助長し、場合によっては骨折等の危険性があります。取扱には十分気をつけてください。

<背もたれ（調整ベルト）>

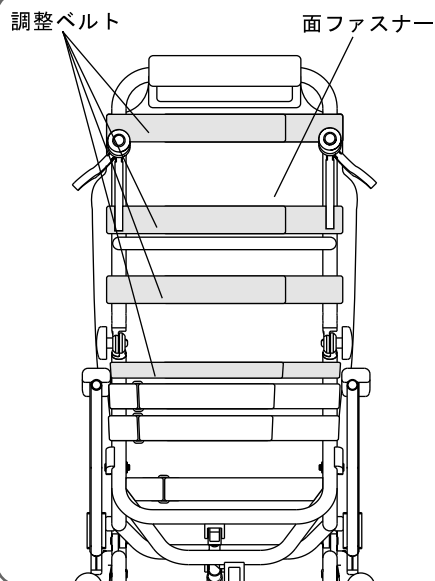
裏側の面ファスナーにより、背の張り具合を調整出来ます。

面ファスナーで取り付けてありますので、必要に応じて張りの調整をしてください。下のベルトから順に、背の形状に合わせて調整していきます。



警告

- 背もたれを緩めすぎて、背パイプとの接触に注意してください。
- 大きくクライニングさせた状態でベルト調整をしないでください。
- ベルト調整をする際は、出来るだけ起こした状態で調整します。



<アームサポート>

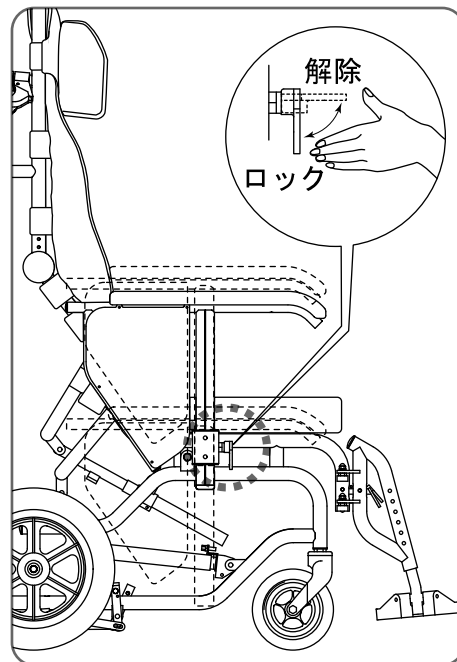
肘掛下部の黒いレバーを起こし、アームサポートを上げ下げすると、高さを各20mm間隔で7段階調整出来ます。

また、一番下まで押し込むと座面の高さまで下げることが出来ます。



警告

- 手を挟まないようご注意ください。
- 調整後は、必ずロックされているか確認してください。
- 各レバーは、調整後必ずロックしてご使用ください。
- ティルトを最大角度にしたまま、アームサポートを一番下まで下げた状態で走行しないでください。
- 折りたたみ収納の際には、アームサポートを座面まで必ず下げてください。アームサポートと背折れダイヤルが接触して、折りたたみ収納ができなくなります。



<フットプレート>

六角レンチでネジを取り外すことによって、高さを調整することができます。



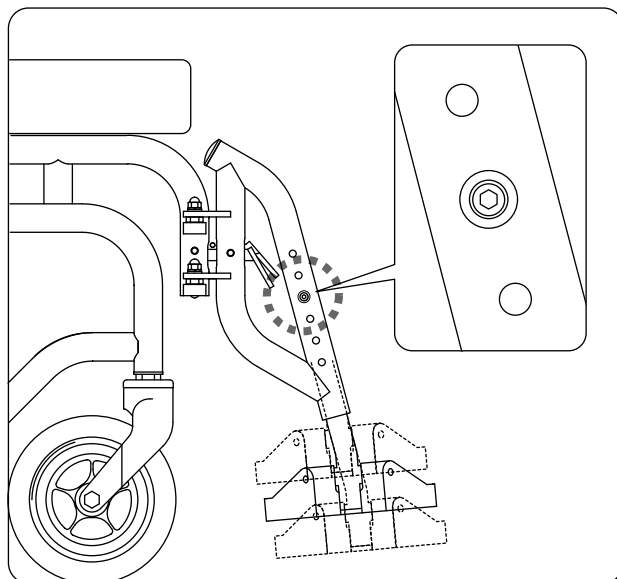
警告

- 調整後は、ネジがしっかりと固定されているか確認してください。



注意

- 六角ナットが中にありますので、調整する際には紛失しないようご注意ください。



<スイングアウト機構>

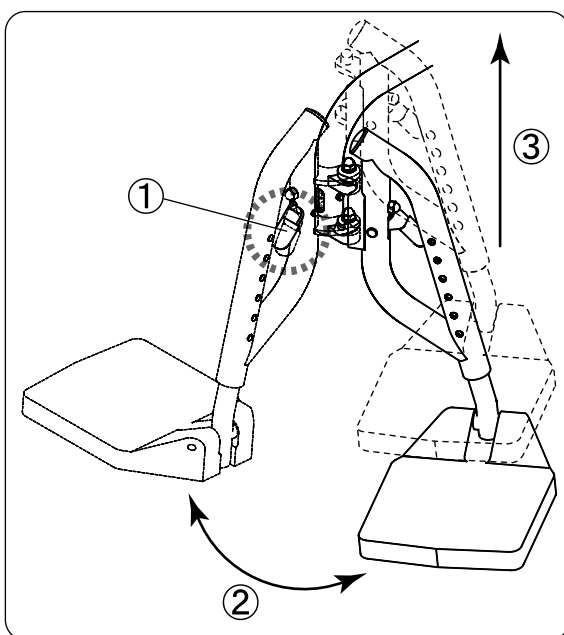
- ① ロックレバーを引き上げ、ロック解除します。
- ② ロックレバーを引き上げたまま、外側へ廻します。

<スイングアウト>

- ③ 外側へ廻した状態で、フットサポートを上へ引き抜くことができます。

<スイングアウトを戻す時>

カチッと音がして、ロックレバーが収まっていることを確認してください。



注意

- スイングアウトした際は、必ずフットサポートを取り外した状態で、移乗してください。



警告

- 手や足を挟まないようにご注意ください。
- 走行時のステップポストの高さは、地面より5 cm以上でご利用ください。低すぎると凸凹路面や障害物にフットプレートが当たり、転倒する恐れがあります。

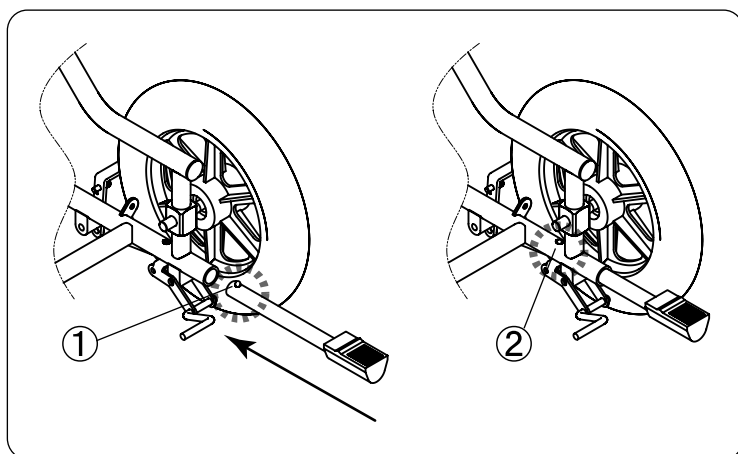
<転倒防止バー（ティッピングバー）>

- ① 転倒防止バーは、ロックボタンを押し込んでロックを解除し、フレームに差し込みます。
- ② カチッと音がしてロックボタンが、フレームから見えていればロック完了です。



注意

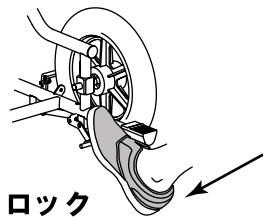
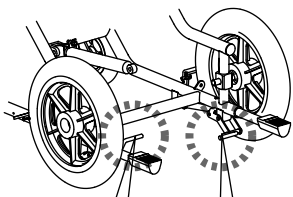
- ロックボタンが出ているかしっかりと確認してください。
- ロックボタンが緩んでいないかしっかりと確認してください。



<フットブレーキ・介助ブレーキ>

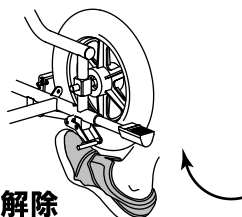
<フットブレーキ>

フットブレーキは、車いすを駐車させるためのブレーキです。



ロック

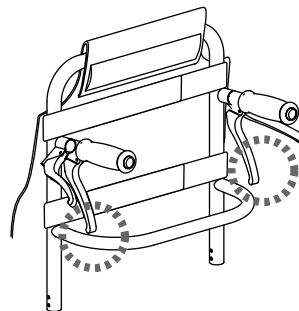
足でしっかり踏み、ロックしてください。



解除

つま先で上に持ち上げる様に解除してください。

<介助ブレーキ>

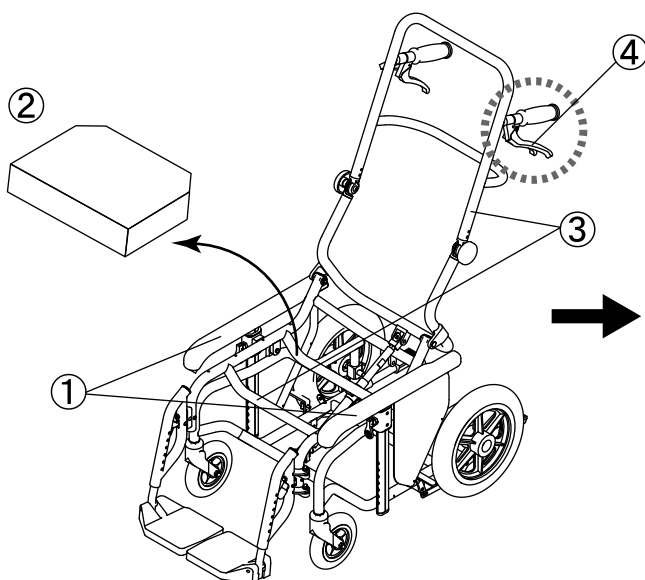


介助ブレーキは、速度を調整するためのブレーキで、駐車を目的としたブレーキではありません。駐車の際は、必ずフットブレーキで操作してください。

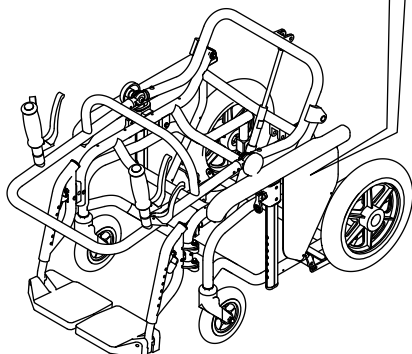
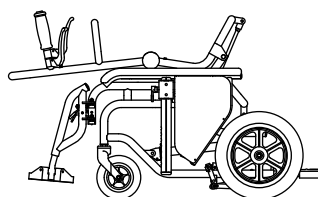
折りたたみ方式

- ① アームレストを左右とも座面の高さまで下げます。
- ② 座面のクッションを取り外します。（下図は、シートカバーを外した状態です）
- ③ 座面・背もたれが傾いている場合は、それぞれ水平・垂直に直します。
座面・背もたれともに傾いている状態ではコンパクトに折りたたむことができません。
- ④ 座面・背もたれの位置を直したら、リクライニングレバーを握って、背もたれが座面と平行になるまで前方に押し倒してください。

背もたれと座面が平行になるように折りたたむ



折たたみ状態（横から見た図）



ガススプリングについて

●ガススプリングの取り扱い上の注意



注意

- 摺動部に注油は一切不要です。注油するとシールの耐久性をなくし、油漏れの原因となります。
- 衝撃を加えることは絶対に避けてください。油漏れ、動作不良、破損の原因となります。
- 分解は絶対にしないでください。高压ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。
- 曲げ荷重の負担がかかりますと、曲げ方向の剛性が少ないので、取り付けの精度によりロッドが曲がり、動作不良の原因となります。
- ピストンロッドおよびシリンダーに打痕をつけますと、シールの寿命を縮めたり、動作不良の原因となります。
- 周囲の気温があまりに高い、または低い場所でのご使用はなるべく避けてください。
使用条件・保存条件 (-20℃ ~ 80℃)
- 雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所でのご使用は避けてください。

●ガススプリングの廃棄方法

廃棄する際は、次の注意事項を守ってください。この部品は、窒素ガスが高压で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

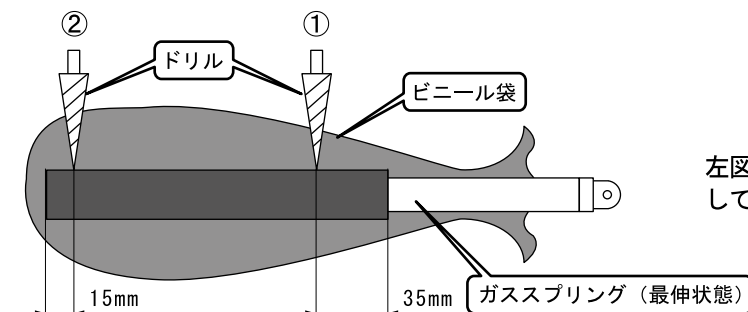


注意

- 押しつぶさない。
- 切断しない。
- 図以外の場所に孔を開けない。
- 火に入れない。

●廃棄の手順

1. ガススプリングを、最伸状態にしてください。
2. ビニール袋をかぶせ、その上から2~3mmのドリルで①の孔を開け、ガス・油を抜いたあと②の孔を開けてください。(※注意 必ず手順を守ってください。)
3. ビニール袋を使用しない場合は、金属粉・油が飛びますので安全メガネを装着し、怪我の無いように十分ご注意ください。下図の要領で孔を開け、ガス抜きをしてから廃棄してください。
 - 薄手の手袋を着用して、作業を行ってください。
 - 廃棄作業の途中で異常が見つかった場合は、作業を中止してください。



左図の要領で孔をあけ、ガス抜きをしてから廃棄処分してください。

車椅子の保守・点検

★四輪が地面に接地していますか？

フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所に放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損わない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★フットサポートのネジ類が、しっかり固定されていますか？

工具を使用して、フットサポートのボルトを緩め、適当な高さに合わせて下さい。

★車輪やキャスタは、しっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタは緩んでいませんか？ 緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。十分ご確認の上、しっかりと固定してください。

★洗淨の際には、水、お湯、または、中性洗剤をご使用ください。

強いオゾンによる消毒はお避けください。変色や劣化等の原因になります。また、洗淨後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。強いオゾンでの消毒はタイヤの変色や劣化の原因となります。

★ワイヤーは切れていませんか？

リクライニングワイヤー、ブレーキワイヤーは切れていませんか？ ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。

- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかった場合は、ご使用を中止してください。

車椅子の主な乗り方 <各部の点検・保守方法>

★タイヤの空気が十分に入っているか確認しましょう。

★下りは加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。

★いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。

★車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

★移乗

車椅子に乗る方を介助者がベッドなどから移す方法であり、双方にとって安全で負担の少ない移動方法。介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら、ゆっくりと立ち上がさせます。介助者の膝で相手を支えながら、車椅子の方へお尻を向けます。そして、ゆっくりと腰を下ろします。

※「いち、にのさん」と声をかけながら、お互いに協力しましょう。

※車椅子の廃棄について

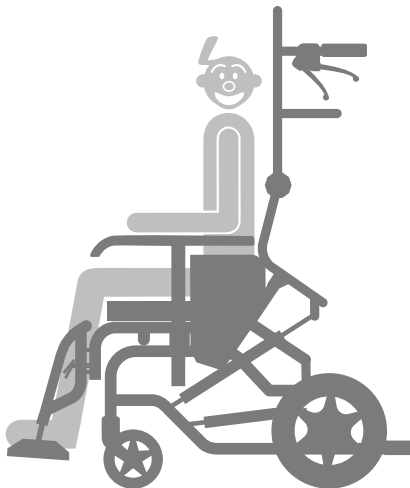
不要になった車椅子は、販売店に処分を依頼するか、自治体の大型ゴミの処分方法に合わせて回収してもらってください。



警告

- ⓪ 不法投棄は、絶対にしないでください。
ガスプリングを処理せずに廃棄すると、
爆発事故を引き起こします。
(P12の「ガスプリングについて」参照)

emigo
えみ〜ご



仕様

品名

emigo

標準仕様・規格

座幅		(mm)	400
前座高さ		(mm)	400~515
後座高さ		(mm)	400~355
座奥行き		(mm)	400
背もたれ高さ		(mm)	820~880
アームレスト高さ		(mm)	180~300 (7段階)
アームレスト跳上		(mm)	不可 (収納式)
全高		(mm)	1220~1280
全長		(mm)	1005~1533
全幅		(mm)	565
重量		(kg)	18.5
耐荷重		(kg)	100
折りたたみ時	全高	(mm)	700
	全長	(mm)	960
	全幅	(mm)	565
キャスター (インチ)		(inch)	6
後輪 (インチ)		(inch)	12
フレーム		(材質)	アルミ・スチール
背シート		(材質)	ポリエステル (黒)
座シート		(材質)	ポリエステル (黒)
フットサポート	機能	可	着脱・レッグストラップ (標準)
		不可	前後調節・角度調節
アームサポート	機能	可	着脱・高さ調節
		不可	跳ね上げ・前後調節
バックサポート	機能	可	張り調節・角度調節 (全体)・角度調節 (中部)・高さ調節
キャスター	機能	不可	高さ調節・垂直調節
後輪	機能	不可	高さ調節・前後調節・着脱
介助用ハンドル	機能	不可	高さ調節
転倒防止装置	機能	可	着脱
座面	機能	不可	奥行調節・張り調節

※ 改良・改善の為、予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。
この取扱説明書は大切に保存しておいてください。



カナヤママシナリー株式会社

HUMAN SOLUTION

ISO9001、ISO14001 認証工場

荻生工場 〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266
東京営業所 〒185-0003 東京都国分寺市戸倉1-23-3 TEL&FAX 042-316-8738